

## 令和6年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日 時：令和6年9月11日（水） 15：00～16：30

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：6名

有賀拓郎(琉球大学病院)、新里雅人(県立宮古病院)、外間早紀子(沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、松村敏信(県立八重山病院)、金城達也(琉球大学大学院)

増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠席者：4名

安次嶺宏哉(沖縄協同病院)、伊江将史(県立中部病院)、照屋淳(北部地区医師会病院)

宮里浩(那覇市立病院)

陪 席：1名

谷口典子(琉大病院がんセンター)

### 【報告事項】

#### 1. 令和6年度 第2回医療部会議事要旨について

・有賀部会長より、資料1に基づいて説明があり、各自目を通して提案・指摘等あれば、報告をすることとなった。

#### 2. 部会長、副部会長、委員の選任について

・有賀部会長より、資料2について説明があった。

以下については報告されず。

・増田委員より、現在の委員の職種が医師以外では県庁の方しかいないため、薬剤師・看護師及び患者委員を加えたいと提案があった。協議の上、事務局から県看護協会・病院薬剤師会・患者会に声掛けをし、次回部会までに候補者を選出することになった。

#### 3. 院内がん登録をしている18施設がDPC-QIに参加することに対する要望について

・増田委員より協議会へ報告済。書類としては、国立がん研究センターへ9/11に書類を提出予定。カルテレビューに関しては、単なるリンケージではなく、臨床医の納得度向上させるには、実際のカルテレビューが必要であると発言があった。

4. 専門的な資格を持った医療者が少ないことについて

- ・資料4について増田委員より説明があった。

協議会で説明をしたところ、情報共有が必要となり、8月に関連する病院すべての院長あてに資料を送付済とのこと。

5. ロジックモデルと指標の活用の仕方を身につける研修会のポスター

- ・資料5について増田委員より説明があった。

6. その他

特に無し。

**【協議事項】**

1. 所掌分担領域の進捗の評価について

- ・資料6に基づき沖縄県の状況について増田委員より説明があった。

2. 本年度部会重点事項

専門医資格を持った医療者の養成とその適正配置をする施策について

・沖縄県では医師の数は比較的多いが、外科や専門医になる人が少ない状況が数十年続いており、研修医の多くが内科や救急専門に進む傾向がある

この状況を改善するために、指導医側から専門医資格取得を促す働きかけを行うことを提案や提言をしていく必要があると増田委員より発言があった。

・宮古病院は県外からの研修生が多く、プライマリーケアやファミリーフィッシャーを目指しているが、ガン診療やパブリックヘルスに興味を持つ人も多い。地域医療連携の指導や、早期がん診断プロジェクトの立ち上げが有効であると新里委員より提案があった。

・沖縄県のがん医療が遅れていると感じており、専門医の数が少ないことが問題である。本土に戻らなくても沖縄で研修や専門医になることが可能であることを周知する必要があると松村委員より発言があった。

3. 次回の開催日程について

10月中を予定。

4. その他

特に無し。